



私のいちおし本

「ヘンな科学 “イグノーベル賞” 研究40講」

五十嵐 杏南 著／綜合法令出版



選者：銀河アリーナ 西菌 博香

イグノーベル賞とは、人を笑わせ、そして考えさせた研究に与えられる賞であり、数多くの日本人の方も受賞しています。そんなイグノーベル賞の受賞研究から、本書ではユニークな科学ネタを厳選して紹介しています。

「バッタは『スターウォーズ』を見ると興奮する」のようにクスッと笑えて、「いざという時にガスマスクになるブラジャー」のようにハッと考えさせられる研究と、時には自らを実験台にし、時には何十年も同じ実験を続ける研究者達の想いが詰まった1冊になっています。

堅苦しくなりがちな科学のイメージとは一味違った、肩の力を抜いて楽しめる科学をお楽しみください。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

小説 すずめの戸締まり

新海 誠 著

九州の静かな港町で叔母と暮らす17歳の少女、鈴芽は、ある日「扉を探してるんだ」という美しい青年と出会い……。過去と未来を繋ぐ“戸締まり”の物語。



【文化センター図書室】

【一般】

見果てぬ王道

川越 宗一 著

長崎の貿易商の跡継ぎとして育ち、香港で写真館を経営する庄吉。清朝を打倒し、西洋の武力支配からの自立を目指す若き孫文と出会い……。映画事業で成功を収め、革命家・孫文を支援し続けた梅屋庄吉の熱き生涯を描く。



【児童】

すてきないちにち

かさい まり 作／絵

かやねずみのこどもたちが、町へ家族とおでかけです。洋服屋さんへ行って、おもちゃ屋さんへ行って、おいしい食事をして、さあ、その次は？



【児童】

コレラを防いだ男 関寛齋

柳原 三佳 著

幕末の江戸で流行したコレラ。ソーシャル・ディスタンス、手指の消毒…。その医師は、現代と同じ方法で感染症から町を守り抜いた！知られざる幕末の偉人、関寛齋の一生を描く。



その他の新刊

【一般】10年かかって地味ごはん。

和田 明日香 著

ポンコツ一家

にしおか すみこ 著

【児童】おうさまのまえで みぎむけーみぎ!

柏原 佳世子 作

うさぎのさとうくんあさひ

相野谷 由起 作

その他の新刊

【一般】うさぎ玉ほろほろ

西條 奈加 著

江戸一新

門井 慶喜 著

【児童】みかんきょうだいのたんけん

ホソカワレイコ 作

ねこさんのってくださーい

かしわら あきお 作／絵